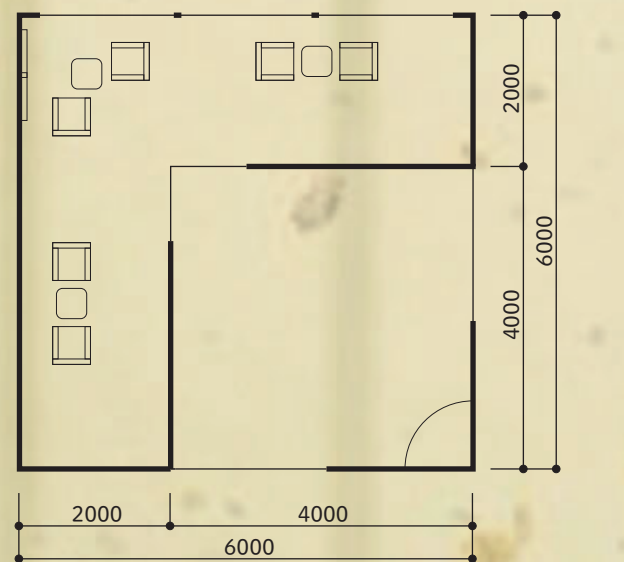
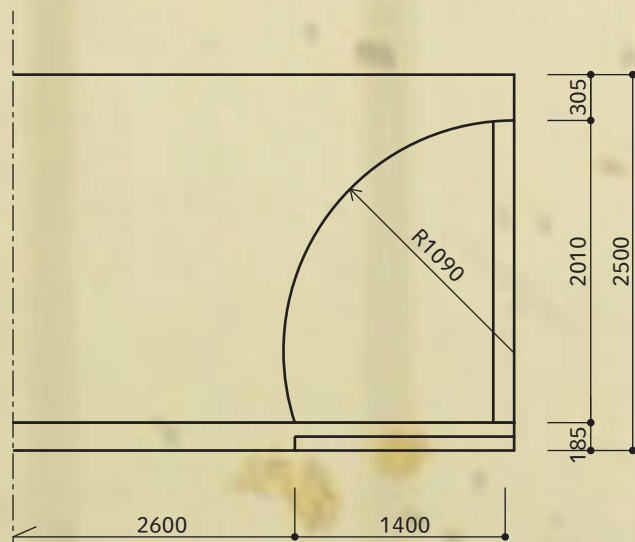




平面図 S=1/100



展開図 S=1/50

また、縁角円は住宅の一室でありながら本来の丸窓の目的と役割を身近に感じることが出来る。大抵は平面に設置されている窓が、和室や角部屋の一角に立体的に鎮座していることによってごくごくありふれた家の周りの景色が自分自身を見つめ直す窓になる。その経験を経ることにより特別な窓と成るのだ。

令和の世となった二〇二五年現在、日本の多くの住宅から和室の姿が消えていのように感じる。明治維新からの西洋化・近代化の波に吞まれながらコスト面や耐久面の進化を指してきた結果、古来からの日本の風土や自然に合わせ建てられてきた和風建築の面影は遠い。

現在の住宅形態が気象などの変化に対して最適化を目指されていることを考慮しても、住宅の、ましてや室内で和を感じられる意匠は数少ない。だからこそ、この縁角円の演出する特別感が際立つのだ。